

平成26年度宮崎県立高鍋高等学校 学校評価

学校経営 ビジョン	一人ひとりが輝いて煌めく未来を切り拓こう(古豪復活)		◎評価基準 4:十分達成できた 3:概ね達成できた 2:やや期待を下回る 1:不十分であり改善を要する ◎1ページ目の学校の重点目標4項目に関する評価は、2ページ以降の、各校務分掌等の関係項目の評価値を平均したものである。
	目指す学校像 (1)生徒一人ひとりを大切に、熱心で親切的な指導が展開される学校 (2)いじめや差別のない、支え合い、高めあえる集団としての学校 (3)保護者・地域・学校が協力し合い、地域から信頼される学校 (4)成果と実績が確実に伸びる学校	目指す教師像 (1)生徒一人ひとりの話に耳を傾け、生徒の良さと可能性を限りなく伸ばす教師 (2)チームワークを大切に、忙しいけれどやりがいのある職場づくりに専念する教師 (3)高度な倫理観を持ち、学び続けることによって、教師としての力量を常に高め合う教師	目指す生徒像 (1)夢や希望に向かって、自分を信じ、仲間を信じ、負けない気持ちとあきらめない精神力とで、常に挑戦する生徒 (2)何時でも何処でも挨拶をすることができ、「ありがとう」「ごめんなさい」が素直にいえる生徒 (3)幅広い教養を身に付け、学力と体力を高め、心を磨き、社会に貢献しようとする生徒

重点目標	評価項目	具体的方策または具体的指標	自己評価	学校関係者評価	
				成果と課題(○成果、●課題、△継続的な課題)	評価・具体的意見
1 確かな学力の向上と進路実現	学力の向上	○ 少人数指導・習熟度別指導による基礎学力定着と上位層の学力向上 ○ 組織的・計画的な、読書指導・小論文指導・資格取得指導の展開 ○ 学力検討会による分析と対策 ○ 自宅学習の充実に向けた実態調査の活用とプロジェクトの開始	3.3	○ 課外への講座制の導入、個別添削指導、3年学習会による成果がみられた。 ○ 図書貸出冊数は前年度比44%増。今後は進路学習とリンクさせたい。 ○ 全商簿記検定2級合格者:6名、実用英語検定2級合格者:18名、国公立大学現役合格者:3月13日現在52名(昨年度最終39名)、就職合格率100%達成(4年連続)。 ● 今後、プロジェクトの成果と対策を核とした自宅学習の充実が急務である。 ● 進路目標と意識を早期に決定し高めるため、進路の手引きを作成し、個別面談を充実させたい。	・大学合格者数、各種検定の合格者の増加については評価できる。次年度以降も増加することを期待したい。 ・自宅学習の充実については目的と役割について共通理解を図り、より具体的で実効性のある対策を打つ必要がある。 ・生徒の学力の実態に応じた課題の出し方を工夫してもらいたい。
	授業力の向上	○ 年2回の授業研究・教科研修会の実施 共通テーマ「生徒の主体的な活動を促す授業を工夫し学力向上を目指す」 ○ 年2回の生徒による授業評価の活用 ○ 各種研修会への参加と日々のOJTの推進		○ 生徒が主体的に学習に取り組む工夫として、ICTの活用や発表・話し合いを取り入れた授業を展開することができた。 ○ 2学期からは、学力定着指導の具体的な研究テーマを設定し実践した。 ● 授業評価の平均値は第1回(4.48)→第2回(4.45)であり、良好ではあるものの向上していない ● 自宅学習の充実とリンクした授業の展開が課題である。	・ICTの活用など具体的な工夫が見られ、今後の自宅学習への取り組みについても、自己管理において手帳等を使ったスケジュール管理などに期待が持てる。 ・「一人一人を大切にし熱心で親切的な指導が展開される学校」であるためには、学力の底上げに重点を置くべきではないか。
	キャリア教育の充実	○ 日常的キャリア教育の実践 総合的な学習の時間(明倫)を中心に、キャリアノートを利用した自己理解と進路意識の醸成 ○ 体験的キャリア教育の実践 インターシッップ、わくわく講座、職業インタビュー、企業・大学視察等 ○ 各教科での取り組み コミュニケーション能力の育成、情報モラルの向上等		○ 多様な体験や講座により生徒の意識の向上がみられた。 ● 高まる意識を進路実現へ向けた確かな実践へと繋げていく手立てが急務である。 ● より一層の保護者・地域との連携、及び指導者の研修が望まれる。	・キャリア教育を通して、実社会で必要なコミュニケーション能力や先を見通す力、周りへの気配りや配慮等を体験を通して身に付けさせて欲しい。 ・就職、進学を問わず、将来のビジョンを持つためのインターンシッップはモチベーションも高まり有意義である。 ・キャリアノートを活用した取組は評価できる。 ・学校の取組が更に効果を上げるためには家庭との連携、協力が必要である。

重点目標	評価項目	具体的方策または具体的指標	自己評価	学校関係者評価		
				成果と課題(○成果、●課題、△継続的な課題)	評価・具体的意見	
2 豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立	心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LHRや講演会、各教科による人権同和教育・道徳教育の推進</li> <li>○年5回のいじめに係るアンケートの実施と年3回の教育相談週間の取組</li> <li>○日々の生徒観察や家庭との連携による生徒情報の共有と組織的な取組</li> <li>○清掃活動の徹底</li> </ul>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LHRや講演会を通して人権に関する生徒の意識を高めた。</li> <li>○年5回定期的なアンケート調査を実施する中で、いじめ及びいじめにつながる事案が10件あったが、速やかに面談を行うなど、迅速に対応し早期発見・未然防止に努めた。</li> <li>○教育相談の利用状況7人→5人、のべ利用日数148日</li> <li>△清掃開始2分前行動については、生徒職員の意識向上を図り、引き続き指導の徹底を図る。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教育は一番大事な部分である。生徒の命を守る事に関しては、学校と生徒、家庭とが一体となって今後も取り組んで欲しい。</li> <li>・不登校・いじめについての取り組みは、アンケートのみにとどまらず、速やかに対応するよう今後とも努めてほしい。</li> <li>・ケイタイ・スマホなどSNSの普及により目に見えないところでのいじめや暴力が増加することが懸念される。何らかの教育が必要である。</li> <li>・登下校の安全管理については、国道の雑草が事故につながる原因にもなりかねないことから、その状況を把握し、行政に管理を働きかけて欲しい。</li> <li>・「弁当の日」の更なる充実をお願いしたい。</li> </ul>
	健康安全教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災教育推進校としての避難訓練を通じた危機管理能力の醸成</li> <li>○自転車交通安全モデル校として、校内駐輪場における施錠及び交通ルール厳守指導の徹底</li> <li>○PTAや警察と連携した下校時の交通指導の実施</li> <li>○「弁当の日」実施を通じた食育の推進</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難訓練における迅速な生徒の行動、駐輪場における施錠率の向上は評価できる。</li> <li>●登下校の交通ルールやマナーに関する苦情の解消</li> <li>●現実的で具体的な避難訓練の計画</li> <li>●全校的な「弁当の日」の展開</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基本である挨拶の励行を継続し、推進して欲しい。</li> <li>・学校を訪問した際の生徒の印象は礼儀正しく、行事にも積極的に取り組んでいて好印象であるが、そうでない面についても情報を教えて欲しい。</li> </ul>
	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝の挨拶運動、遅刻指導の実施</li> <li>○「正姿」の徹底により、集中力・計画性・主体性の育成</li> <li>○定期的な容儀指導の徹底</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶の良さは地域からの評価が極めて高い。</li> <li>○服装容儀違反もほとんど無く、遅刻も極めて少ない。</li> <li>●自宅学習の充実を核とした生活習慣の確立と保護者との連携が課題。</li> <li>●家庭訪問、教育相談週間、個別面談の推進と活用</li> <li>●ケイタイ・スマホ利用に係るルール作り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基本である挨拶の励行を継続し、推進して欲しい。</li> <li>・学校を訪問した際の生徒の印象は礼儀正しく、行事にも積極的に取り組んでいて好印象であるが、そうでない面についても情報を教えて欲しい。</li> </ul>
3 文武両道の推進と自主的自律的自己の確立	部活動、学校行事、生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;部活動&gt;</li> <li>○部活動加入率の維持・向上</li> <li>○活動実績の向上</li> <li>&lt;学校行事・生徒会活動の活性化&gt;</li> <li>○学校行事・生徒会活動における生徒の主体性やリーダーシップ育成指導</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動加入率81.5%達成</li> <li>○県内大会優勝(ラグビー部、ホッケー部、ボート部、陸上部、写真部・放送部・文芸部)</li> <li>●文武両道へ向けた部活動生の下校時刻厳守</li> <li>○生徒会による朝の挨拶運動や新入生オリエンテーション、米沢興譲館高校との学校間交流などに主体的に取り組んだ。</li> <li>●生徒会委員会活動の活性化</li> </ul>	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入数の増加や、学校行事における主体的な参加など努力の跡が感じられる。</li> <li>・部活動と勉強の切り替えがしっかりできる体制を作って欲しい。</li> <li>・部活動の入部率は評価できるが、その活動内容も大切。高校での部活動に夢をもって入部する生徒の期待に少しでも応えるためにも、部活動の指導・サポートをお願いしたい。</li> <li>・部活動の大会結果は賞賛すべきものであるが、学力も向上しなければ、文武両道とは言えない。今後の学力向上に期待したい。</li> <li>・オープンスクールでの各部活動体験は行われているが、小中学生を対象としたクリニックや合同練習を各部活動ごとに行い、スムーズに入部できる環境をつくって欲しい。</li> </ul>
	地域・保護者及び小・中学校との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校公開(2回)、オープンスクール、学校説明会、中学生学力アップセミナー、出前授業の充実</li> <li>○地域行事(灯籠祭り、都農尾鈴マラソン、高鍋町子育て応援フェスティバル等)への積極的参加</li> <li>○PTA活動の充実</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンスクールは生徒主体の取り組みや保護者体験談等好評であった。</li> <li>○オープンスクール(良く理解できた99.7%、参加して良かった100%)</li> <li>○学校公開参加者数360名</li> <li>○地域行事参加における生徒の活動は高い評価をいただいている。</li> <li>●「地域の子どもは地域で育てる」をモットーとした更なる小中高及び保護者との連携強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統校としてのイメージがあり、教師・生徒もその自覚を持てば学校として地域から信頼されると思う。少子化が進む中、生徒の減少は全国的な問題であり、現状の数であれば十分評価できる。</li> <li>・奉仕活動等への保護者の参加数も多く、学校の行事に対する理解を得られてきている。</li> <li>・西都児湯圏域内から生徒を如何に本校に呼び込めるかが大きな課題である。在校生が母校で体験談を語る場を設けるなど、生徒が高鍋高校の良さをアピールする事も考えてみてはどうか。</li> <li>・オープンスクールの好成績が定員割れとどう関連するのか、多方面からの分析が必要である。</li> <li>・次年度の鳴海ヶ丘祭を土日を含む日程にしたことは、外部来校者(地域の中学生)の増加が見込め大変良いことである。</li> </ul>
4 地域に開かれた信頼される学校づくりと情報の発信	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校案内パンフレット、ポスター、学校紹介DVDの作成と工夫・改善</li> <li>○広報誌(明倫)、くすのき通信、PTA新聞の発行</li> <li>○ホームページの更新と充実</li> <li>○マスコミとの連携</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新聞掲載(宮日80回)</li> <li>○広報誌の順調な刊行</li> <li>●パンフレット・DVD等の早期作成(4月中)</li> <li>●ホームページのリニューアル</li> </ul>	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持っているものだけが検索、閲覧する「守り」型のホームページでは、積極的な広報活動にはほど遠い。Facebookなどを活用し、「攻め」の姿勢でアピールしてはどうか。</li> <li>・学校やPTAから配付されるプリント等は、学校の情報や生徒の様子を知る貴重な情報源である。保護者に確実に届くよう指導して欲しい。</li> <li>・ボランティア活動など生徒達はよく貢献してくれている。高鍋高校の魅力が学校全体で地域の方にPRして欲しい。</li> </ul>